

エゾアワビ *Haliotis discus hannai*



生態

- ①寿命：約 20 年
- ②成熟：2 歳～3 歳以上（殻長 5 cm 以上）
- ③産卵期：8 月～11 月頃（水温 17℃～24℃）
- ④分布：クロアワビの北方型であり、茨城県以北の太平洋、津軽海峡、噴火湾、北海道の日本海沿岸など、冬季に水温が 12℃以下に降下する海域に生息する。
- ⑤生態：受精後 4 日～8 日間浮遊生活し、潮間帯から水深 3m 前後の岩盤や転石帯に着底したのち、成長にともなって潮下帯から水深 20m にかけての岩礁や転石に移行する。コンブ、ワカメ、ホンダワラ類、アナアオサなどの海藻を好み、それら海藻の現存量が高い海域に多く生息する。夜行性。水温 7℃以下及び 27℃以上で摂餌量が減少し、水温 15℃～20℃の範囲ではよく成長する。水温及び餌料となる海藻の種類と量によって、成長が大きく異なる。

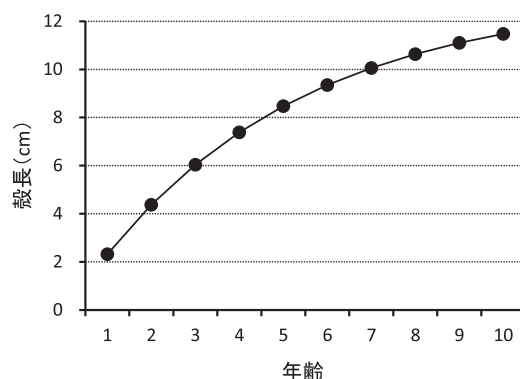


図 青森県におけるエゾアワビの成長（八戸）
出典：青森県水産増殖センター（1981）青水増資料 S. 56-
No. 9, 57pp

主な漁業

本県全沿岸に生息するが、津軽海峡から太平洋沿岸で多く漁獲される。鉤やほこを使った底見、潜水によって冬季を中心に漁獲される。

漁獲の動向と水準

漁獲量は、1970 年に過去最高の 218 トンを記録し、1983 年までは 100 トンを上回っていたが、異常低水温によるへい死が報告された 1984 年に急減した。その後、天然発生の不調が続いたことなどにより 1989 年から 7 年間 27 トン以下に留まったものの、1996 年以降は 30 トン～70 トンで推移した。近年は減少傾向が続いていたが、2022 年からは微増に転じており、2024 年は 20 トンであった。

2024 年の漁獲水準は、漁獲量の最高値と最低値との間を 3 等分し、上から高位、中位、低位とすると、低位であった。

資源を上手に利用するために

☆青森県漁業調整規則第 39 条により、殻長 9cm 以下及び 8 月 1 日～10 月 31 日の採捕を禁止しており、これを遵守する必要がある。

☆身入りや成長が劣る漁場ではマコンブ養殖などの給餌や磯焼け対策が効果的である。

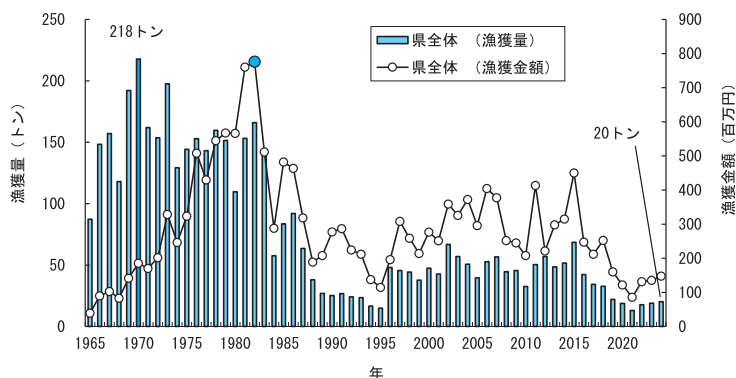


図 青森県におけるアワビの漁獲量及び漁獲金額の推移

